

ホタテガイ養殖管理情報

異常貝が増加するので早めの分散作業を

1 海況

10月11日時点の陸奥湾の中層（10～15m層）の日平均水温は図1のとおりです。水温は20℃台になっており、今後1ヶ月間の水温も平年並み～やや高めの見込みです。詳しくは、陸奥湾海況情報や海ナビ@あもり（下記URL、QRコード）をご覧ください。

2 稚貝の状況について

10月3～5日に湾内5地点で、**8月下旬に採取した未分散稚貝**の中段1段の成育状況を調査しました。

平均殻長は西湾で17.9mm、東湾で19.3mmと7月下旬～8月上旬に採取した未分散稚貝（9月13～25日調査時それぞれ19.5mm、17.9mm）よりも西湾で小さく、東湾で大きいサイズとなっています（表1）。

成長後の死貝数から求めた**へい死率は**西湾で3.1%、東湾で2.9%と**7月下旬～8月上旬に採取した未分散稚貝**（9月13～25日調査時それぞれ0.0%、0.5%）**よりも高い値**となっています。なお、採取直後の死貝も多く見られています。

3 稚貝分散作業時の注意点

- 1段当りの収容枚数が200枚台と多い地点が見られます。
- **分散が遅れると、①異常貝増加によるへい死につながる**こと、**②成長不良の小さい貝の増加による冬季へい死につながる**ことから、**早めに作業を進めてください。**
- **収容枚数が多い場合や新貝と成貝向けの稚貝分散は10月末までに、収容枚数が少ない場合や半成貝向けの稚貝分散は遅くとも11月末までに終わらせる**ようにしましょう。
- 1段当りの**収容枚数が多いと成長悪化やへい死につながる**ので、養殖方法に応じた**適正な収容枚数（1段当り10～20枚）**を心がけて作業してください。
- 潮流による貝同士のぶつかり合いで、外套膜（ヒモ）が傷ついてへい死しないように、**ネットにはオモリをつけましょう。**また、潮流が速い場合は、作業を控えましょう。
- 作業終了後は波浪によるぶつかり合いを防ぐために、**施設を浮かせずぎない**ようにしましょう。

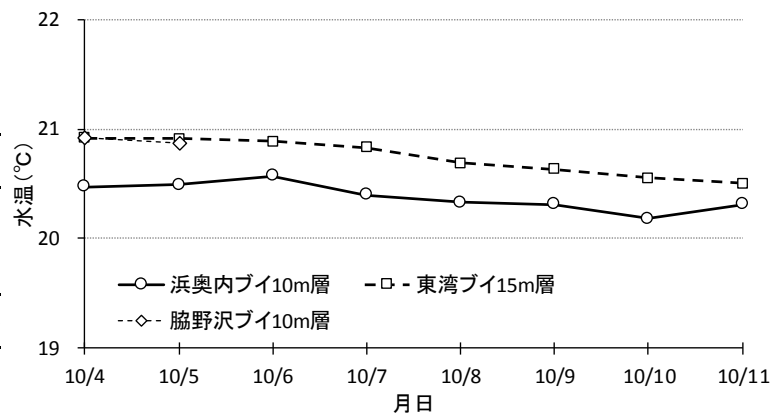
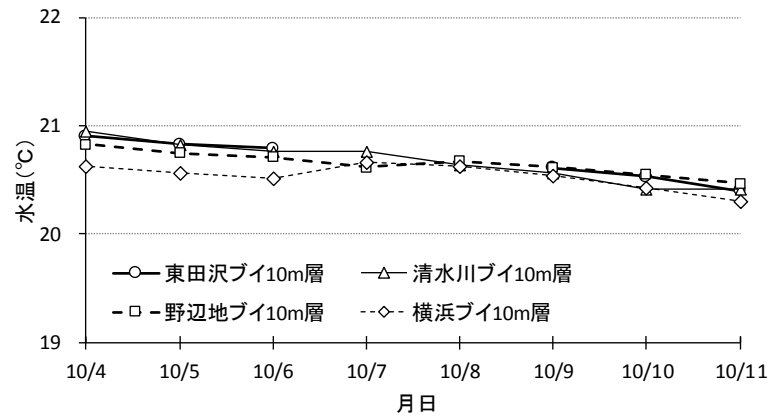
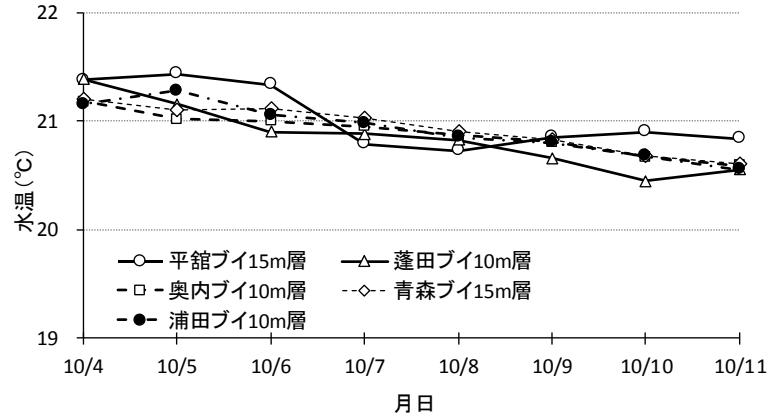


図1 海況自動観測ブイ（15m層）と水温観測ブイ（10m層）での日平均水温の変化

表1 各地点で8月下旬に採取した未分散稚貝の成育状況

調査場所	調査月日	幹綱水深 (m)	稚貝採取月日	稚貝採取時の篩の目合(分)	パールネットの目合(分)	錘の有無・種類	生貝数(枚)	死貝数(枚)		へい死率(%)※	異常貝率(%)	平均殻長(mm)
								成長後	採取直後			
A	10月4日	20	8月22日	2.0	2	鉛75匁	104	1	4	1.0	3.0	18.1
B	10月3日	9	8月29日	2.0	2	11段目太棒	143	8	5	5.3	6.0	17.7
西湾平均							124	5	5	3.1	4.5	17.9
C	10月5日	20	8月20日	1.5	2	鉛100匁	231	13	14	5.3	3.0	16.7
D	10月5日	20	8月19日	2.2	2	コンクリート2kg	108	0	0	0.0	0.0	21.6
E	10月5日	15	8月23日	2.3	2	鉛100匁	141	5	3	3.4	0.0	19.5
東湾平均							160	6	6	2.9	1.0	19.3

※成長後死貝数から求めた値

